

知っていますか？ 受験者の能力を！！ 「10 分間テスト」で能力判定しましょう

- ★ 弊社では、受け入れ機関の希望する所に、介護・看護師候補者に対して、「10 分間の言語能力テスト」を行ってきた。（2頁、3 頁参照）
- ★ インドネシア人とフィリピン人の入職者は、母国での日本語教育では、おおよそ **864 時間**（積算根拠 1 日 6 時間×週 6 日間×4 週間×6 か月間）。
- ★ ベトナム人は母国で、おおよそ **1728 時間**（積算根拠 1 日 6 時間×週 6 日間×4 週間×12 か月間）の日本語研修を受け、来日直後では、おおよそ **864 時間**（積算根拠 1 日 6 時間×週 6 日間×4 週間×6 か月間）の座学研修を受けている。

- ★ その結果、入職者は最低、インドネシア人とフィリピン人は **1728 時間**、ベトナム人は **2592 時間**の日本語学習を受けて入職している。
- ★ にも関わらず「表 1」を観ると、「国を問わずに言語能力の低さ」が初めて明らかになった。
「10 分間テスト」は、全問正解で日本人の小学校 3 年生レベルの言語能力があると判定されるが、テストを受けた入職者のほとんどが平均して、日本人の 5 歳児レベルの言語能力しか無いことが分かった。
- ★ 全受け入れ機関が入職者の言語能力を、客観的に把握できるように、今回の特集を組むこととした。

I、入職時の言語実験

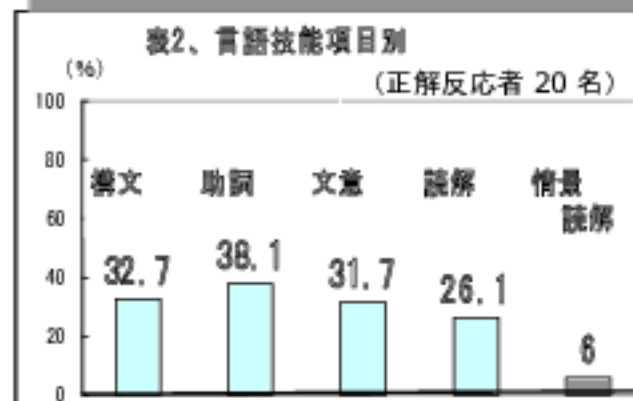
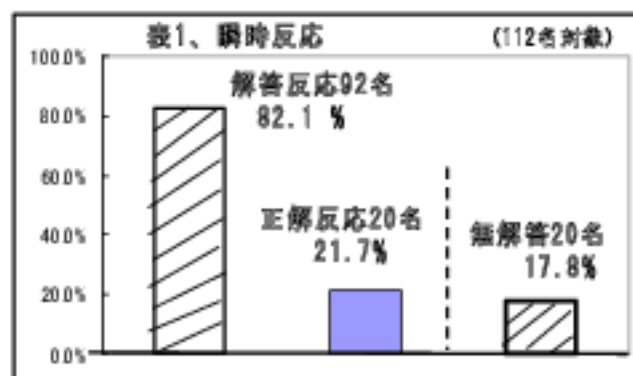
- インドネシア・フィリピン人は、入職前に **1700 時間以上**を、ベトナム人は **2500 時間以上**の日本語研修を受けているにも関わらず、どの国も日本人の 5 歳児レベル以下の言語能力しか無いことが判明した。
- その根拠として、1 問 1 分間で解答すべき問題を、時間内に正しく反応できない者が **78.3%**にものぼったことだ。この言語能力は、ほとんど日本語教育を受けていないにも等しい状態と言える。

II、最低値の言語能力は、「情景読解能力」

- 表 2 は、112 名中正解反応をした 20 名の言語技能を分析したものだ。言語技能の中で、特に際立って無い技能は、「情景読解力」だった。
- 「情景読解」は、「視覚的に事物や図解を観て、その状態を理解する能力」のことを言う。観た人が「その情景を日本語文で表す力」をも言う。よって、構文や助詞並びに文意力にも通じ、「自分の意思や思いを日本語文で表す」ために、重要な言語能力だ。

III、現場で必要な力は「情景読解能力と構文能力」

- 国家試験受験能力を養うためには、最低でも「情景読解・構文能力」を、日本人の専門学校生レベルにしない限り、国家試験問題を正しく理解して解答することはできず、合格はできない。
- しかしながら、多くの現場では、言語能力は日本人の小学生レベルでありながら、専門語彙と知識は丸暗記をさせ、マークシートによる国家試験の合格を目指す学習だけをさせているのが実態だ。
- その具体的な証として、会話はワザードコミュニケーションで、業務連絡や会議等には出席させられず、さらに、業務報告が正しくできないために、夜勤業務等の責任がある仕事をさせられないのが実態だ。



お知らせ

- 2 ページ、3 ページに「10 分間テスト問題」を掲載しましたので、是非、この問題を使用して、受験者の「言語能力到達度」を客観的に把握して下さい。
- 必ず、10 分間の時間厳守をしなければ正しく能力把握ができません。
なお、解答用紙は、FAX でご送付下さい。
FAX : 086-431-3482
- 解答用紙には赤字入れをして、到達度の考察票を添付してお返しします。

【10 分間テスト】

氏名 _____

実施日 _____

施設名 _____

監督者名 _____

施設メール: _____

施設 F A X : _____

『物』



「食べる物」 「飲む物」 「読む物」 「書く物」 「見る物」 「聞く物」

『生き物』



「人間」 「動物」

* コーヒーと ビーは 「飲む物」で、テレビと シャーは 「見る物」です。

「飲む物」と 「見る物」は 『物』の 種類です。

* ジョーさんは 「人間」で、ねこは 「動物」です。

* (質問) テレビは 「どんな物」ですか。 → (答え) テレビは 「見る物」です。

* (質問) テレビは なのに 種類ですか。 → (答え) テレビは 「見る物」の 種類です。



1. 文にして 答えなさい。

(質問) 「飲む物」は なんと なにですか。

(答え) _____ 1

(質問) パンと ぶどうは 「どんな物」ですか。

(答え) _____ 2

(質問) 本は 「どんな物」で、えんぴつは 「どんな物」ですか。

(答え) _____ 3

(質問) 「飲む物」と 「読む物」と 「書く物」は なのに 種類ですか。

(答え) _____ 4

(質問) マリアさんと 犬は なのに 種類ですか。

(答え) _____ 5

2. 絵を見て、文を書きなさい。

文は【 】の形で () の言葉を使って、書きなさい。

【文と文】(マリア、今日、着ている、赤いセーター／黒いズボン、はいている、ルチアさん)

(答え) 今日 マリアは 赤いセーターを 着ていて、
ルチアさんは 黒いズボンを はいています。



① 【文と文】 (本、座っている、読んでいる、いす、佐藤さん)



(答え) _____ 6

② 【文と文】 (お茶、マリア、渡している、佐藤さん／佐藤さん、飲む、それ)



(答え) _____ 7

(質問) 佐藤さんは 食事を 全部 食べましたか。

③ 【文と文「が、」の形】 (全部、ごはん、佐藤さん、おかず、食べた、残した)



(答え) いいえ、 _____ が、
_____ 8

(質問) マリアの髪は 長いですか。

④ 【文と文「が、」の形+「いいえ」の形】 (長い、マリア、髪)



(答え) いいえ、 _____ 9
髪は 短い ^{みじか} いです。

(質問) では、マリアの髪の色は どの ^い かで、ルチアさんの ^は どの ^い ですか。

⑤ 【文と文】 (黒い、ルチアさん、色／髪、マリア、茶色い)



(答え) _____ 10

「施設の声」その1

※ 地方施設の労働力不足に悩む、切実な声を
本ページで特集しましたので、ご参考に。

合格しても戦力にならず・・・

- 入職当初の日本語力は低いと感じていたが、3年間もかけて徐々にだが、高まった。そして、何とか合格できた。しかし、業務報告や記録取りなどは無理な状態だった。
- 二名のフィリピン人合格者がいたが、一人は妊娠して退職した。もう一人は母国に子供がいて、日本に呼び寄せることも考えてはいたが、就労環境やビザ等、色々考えた上、結局帰国してしまった。結果的に、受け入れた外国人を施設の戦力にできなかった。
(神奈川県・K施設)

合格できても定着しないEPA・・・！！

- 日本人介護士が集まらないため、EPA制度ができてから、毎年必ず複数の候補者を受け入れている。職員と外部講師による指導をしてきて、幸い、毎年、少しずつ合格者を出してきた実績がある。
- 合格したら即戦力として働いて欲しいという、当施設の希望は毎年、打ち砕かれた。なぜなら、合格しても都会に出てしまい、現在、残っている合格者は一人もいないからだ。経費と時間を費やしなから、3年間候補者を育て、国家試験に合格しても、定着してくれない実態がある。
- 戦力にならないならば、何のために受け入れたのが、全く意味が無い。今後は国を変えて受け入れ、外国人に対する対応方法を見直さなければいけないと考えている。
(青森県・M施設)

家庭内問題で、一時帰国中（現在戦力なし）！！

- 施設では、候補者の時から業務はしっかりとやらせていたので、問題なく仕事をこなしている。合格者は、妻子持ちで家族を呼び寄せて日本で働きたいという本人の希望もある。
- しかし、子供はすぐに日本語に慣れて、覚えていけるだろうが、奥さんのほうが言葉の問題を理由に、日本に来ることに躊躇している。そのため、説得するために、一時帰国している。
- 施設としても、晴れて合格できたことだし、長く働いて欲しいという考えで受け入れているので、是非、戻ってきて働いて欲しいとは思っている。
(滋賀県・O施設)

合格しても単純業務しかできない・・・！！

- 合格者は二名いて、幸い、続けて仕事をしている。日中の単純な業務は、問題無くこなせているので、助かってはいる。
- しかし、合格後、2年も経過しているが、記録も思うように書けず、さらに、利用者とのコミュニケーションにも不安があるため、さすがに夜勤には入れさせることができない。
- 夜勤に入れるようになると、給料も高くなるが、入れないために給料も上がらないので、本人達も給料面での不満があるようだ。このままでは、いつまで働くかが、心配な状態だ。
(京都府・R施設)

田舎から都会に移動する合格者・・・

田舎の施設は、毎年人手不足で経営困難・・・！！

- 田舎にあるため、日本人の介護士も看護師も集まらない。特に介護士は万年人手不足で、このままいくと施設運営に大きな支障をきたすことが目に見えている。このような状態からEPAを戦力にするために毎年のように受け入れている。
- 幸い、数名は合格できたが、1年も働かない内に都会に移動してしまった。合格者がこのような状態だから、次の候補者も同じように繰り返すのではないかと、気がきで仕方が無い。
- 他の施設と比べて、待遇も決して悪いとは思っていないが、本人が言うには、気候風土が一番の問題らしく、長く日本で働く上では、温かい地方が良いと感じているらしい。さらに、職員が思っている以上に、同国人間のネットワークが強く、待遇面や職場環境など色々と情報交換して、不満が生じていることが分かる。
- 今後も受け入れを引き続き考えてはいるが、定着せずに戦力にならないのではどうしようもない。何か良い方法があれば、是非とも教えてほしい。当施設と同じような理由で悩んでいる所もあるのではないかと。あるのであれば、他はどのような方法を取っているのかも教ほしい。
(宮城県・S施設)

「施設の声」その2

※ 施設の合格への努力と、労力のかけ方について本ページで特集しましたので、ご紹介。

手間暇かけて、やっと合格者を出す！！

- 今まで不合格が続いていたが、今回合格することができた。以前に比べて日本語の講師の増員と、学習時間を増やすことで、合格できたのではないと思う。学習時間は、施設内で週4時間設けていたが、あとは自己学習をさせていた。
- 施設内での学習は、日本語講師が中心に週4時間、対面で学習指導をしてもらった。しかし、入職時から受験日までの期間、約三年間に費やした学習時間は、合計で576時間にも上っている。そして、日本語講師の報酬金も膨大な金額になってしまった。(奈良県・H施設)

事業団教材が読解できない受験者・・・ 受験者に合わせた学習方法で、合格！！

- 合格できた理由は、国家試験問題を反復しながら解くということに力を入れてきたこと。そして、日本語の先生に週一回来てもらって、日本語についても強化していたこと。それから、先生と職員とで情報交換しながら、教育の方針や進め方を決めていたこと。さらに、学習の仕方や日本語教材は、先生と相談しながら、選定していたことと言える。
- その理由は、事業団の教材を教えても、受験者の日本語能力が達しておらず、読めない受験者もいたからだ。会合などで、他の施設から事業団教材は役に立っていないという声も聞かされていた。(愛知県・D施設)

給料を払いながら業務もさせずに、かろうじて合格！

- 最初の1年ないし2年目は、横浜市内の専門学校に月3～4回通学、施設内で日本語教師が週1回半日指導して学習して、残りは業務を行っていた。最終年度になると、専門学校に週1回通学、日本語の先生や施設内の職員が指導した。その反面、業務に費やしたのは週2～2.5日位で、ほとんど業務に時間を費やせなかった状態だった。
- 国家試験の合格の決め手はよく分からないが、学習意欲が最終年度まで持続できたことと思う。そして、勤務時間内の学習時間を、多く割いたことなのではないかと思っている。
- そのため、給料を払いながら、業務をさせずに試験対策学習を、労力と費用をかけてしまった結果が、やっと合格に結び付いたと思っている。これで、合格者が戦力にならなかったら、苦労が水の泡だ。(神奈川県・T施設)

ようやく合格者が出た・・・！！

- 今年はようやく、合格者を出すことができた。同じプログラムで例年通り進めていて、特別に学習時間を増やしたわけでもなく、不思議と合格できた。合格者の入職当初の能力は、今までの受験者と同じ横並びで低かった。
- 合格する最終的な決め手は、やはり本人の努力次第だと思う。勉強をしない人は日頃からしないし、頑張って取り組んでいる人は、それなりに頑張って勉強しているので。(神奈川県・B施設)

合格後に改めて日本語力の重要さに気づく！！

- 受験対策は、専門語彙の指導を職員が片手間で行っていた。しかし、職員も限られた時間内でしかできないので、どうしても教育担当をつけて、なかなか指導することが難しかった。合格者は、現場で作業をしながらの受験学習だったが、毎日平均4時間位はしていたようだ。
- 合格者から聞いた話したが、専門知識も確かに大切だが、日本語の長い文を読めない限り問題は解けないので、いかに日本語を読み解く能力(読解力)が重要なのかを、今回の国家試験で身にしみて感じていた。(佐賀県・M施設)

声に関する考察

- 1) 「施設の声」その1とその2の共通項は、「多大な時間と労力、そして、膨大な費用」を使った結果、やっと合格者を出している。
 - 2) しかしながら、せっかく合格しても定着せずに、都会へ移動したり、在職しても十分な言語能力が無いために、実践力になっていない。
 - 3) 言語能力が無いために、会議への参加や夜勤等をさせられず、待遇に対する不満を持たれる。
- ※※ 合格者を出したにも関わらず、施設の戦力に成り得ていない実態が、「今回の声の特集」で垣間見られたことは、今後の対応を再検討する時期にきていると言える。

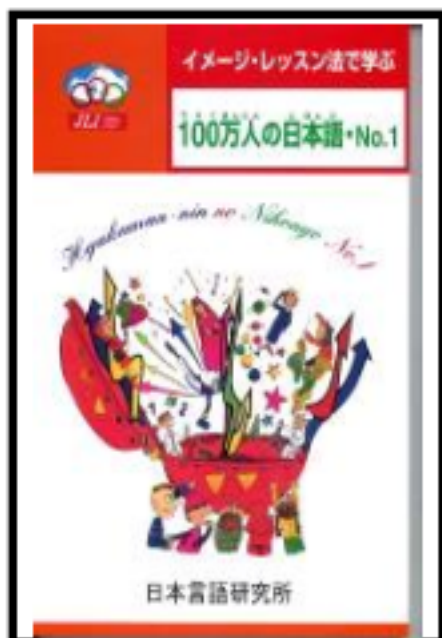
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

主教材

基礎言語能力レベル

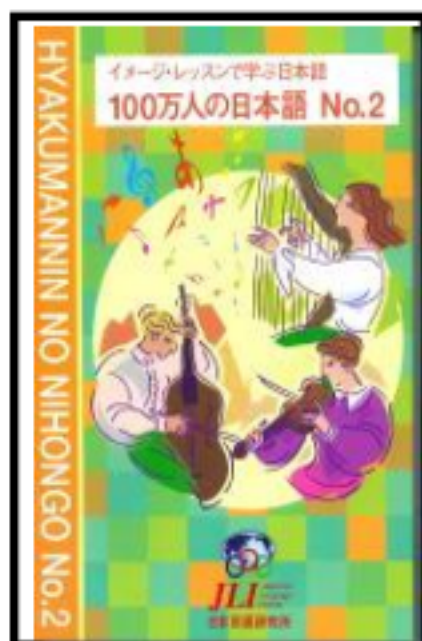
スカイプ・教材の問い合わせ先
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての
言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・
存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成
となっています。(2,805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 520 語～1560 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文
を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解
しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得
できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現
力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語
のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】
日本社会に適応できる人間関係を理解
して、目上の人に対する礼節を保つ表
現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書け
ると同時に、漢字熟語を使った要約文
を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を
引いて調べることができます。(3,300 円)

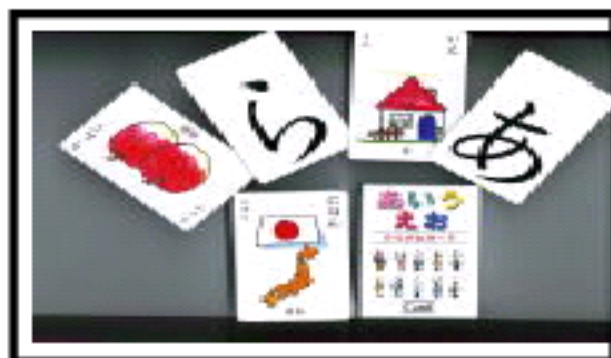
※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
副教材

基礎言語能力レベル

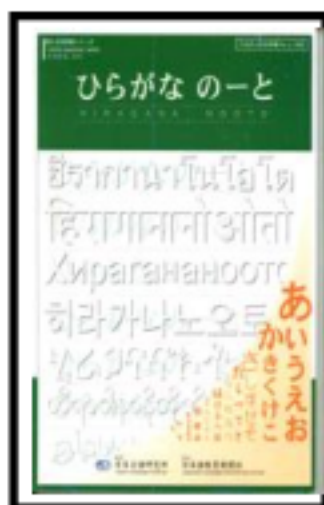
手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

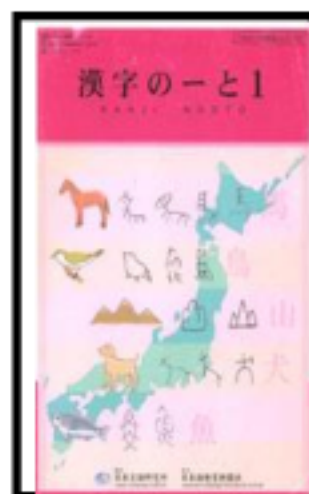
イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

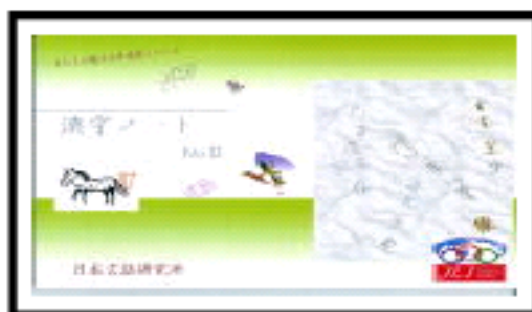
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその言出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い諸技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は、平成 24 年度国家試験で受験者数 95 名中 36 名が合格し、その 36 名中 19 名 (52.7%) がこの【到達度試験】を受けた受験者でした。 25 年度では、128 名の国家試験合格者のうち、【到達度試験】参加者は 76 名で、合格者は 68 名 (89.4%) でした。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で働く人間として必要な言語能力を養うことを重要視した学習方法です。 さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、病院や介護施設などで実践力のある要員として育成することを目的としています。 定期的試験結果を数値化し、職員に指導の仕方を考察票でお送りしておりますので、安心してご指導頂けます。 是非、ご参加下さい。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職業言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」(漢字 熟語)と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 (語彙力・文意力)に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎言語能力を養う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字(ひらがな・カタカナ・ 漢字)・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		